



県民が安心できる医療体制を構築

主担当部局：医療政策部



奈良県の看護職員たち

目指す姿

必要な医療を適切に受けられる体制を構築するため、最初から最後まで切れ目のない医療提供体制を構築し、個々の県民が最適のケアを選択する機会と情報の提供を行い、県民が納得できる医療を提供します。



●平成29年度までに県民アンケート調査(平成25年度)で重要度が高かった項目の満足度のポイントを向上させます。

急病時に診てもらえる医療機関があること(重要度1位、満足度24位)

※32項目中

2.73ポイント→

3.00ポイント

安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること(重要度6位、満足度28位)

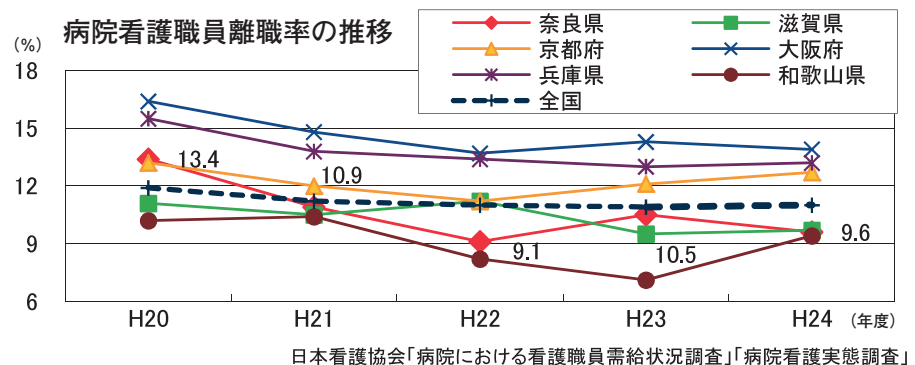
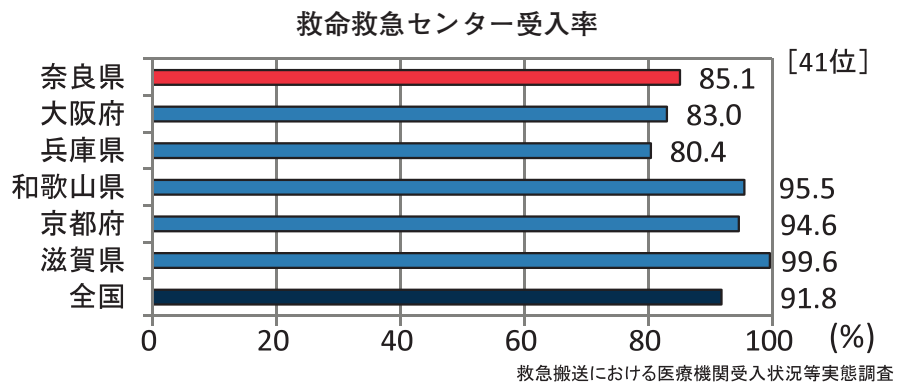
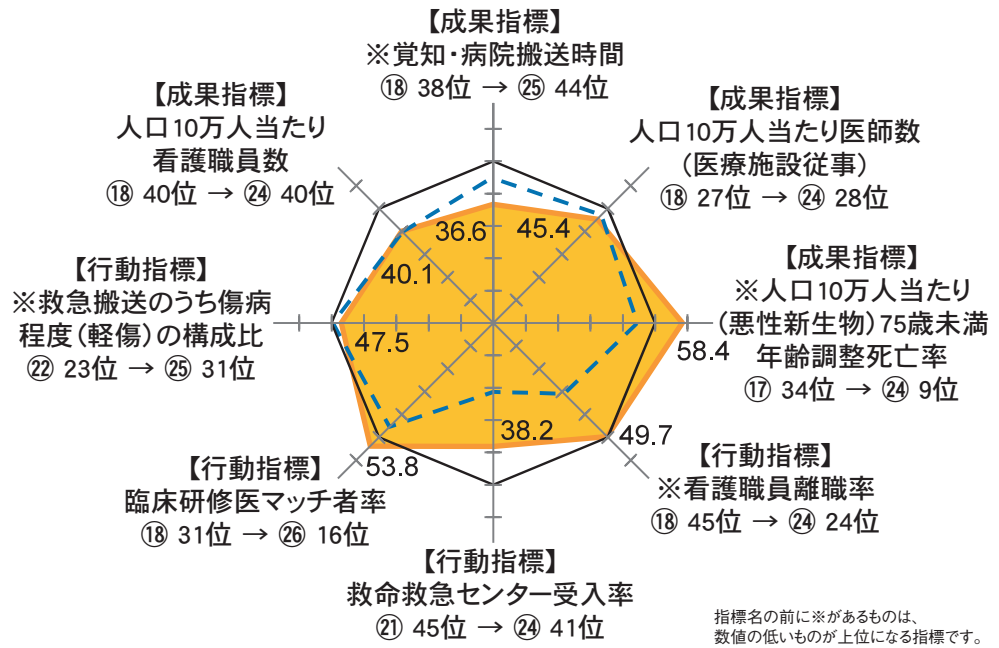
※32項目中

2.65ポイント→

2.80ポイント

※県民アンケート調査は5段階で評価しています。

■ 主な指標



- 重篤な救急患者に対応する救命救急センターの受入率は、平成21年(全国45位)よりやや改善しています。
- 看護職員離職率は、平成21年度以降全国平均を下回り改善傾向にあります。
- 臨床研修医マッチ者率(定員充足率)は、全国でも上位を維持しています。

戦略1 高度医療の充実を図ります。

主担当課：医療政策部 病院マネジメント課

戦略目標

- ▶ 将来にわたって持続可能で安定的な救急医療体制、周産期医療体制等の構築と総合的ながん対策の推進など**高度医療の充実**を目指します。

取り組み

北和地域の高度医療拠点病院として県総合医療センターを整備

中南和地域の高度医療拠点病院として県立医科大学附属病院を整備



高度医療拠点病院として整備を予定している
県総合医療センター（イメージ図）



〔第1種感染症指定医療機関〕 県立医科大学附属病院での
新型インフルエンザ患者搬送訓練



県立医科大学附属病院新病棟（E病棟）
（イメージ図）

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
北和地域の高度医療拠点病院として県総合医療センターを整備				
◎全面的な建て替え整備		造成工事		
		建築工事		
◎診療機能の段階的整備			機能整備	
中南和地域の高度医療拠点病院として県立医科大学附属病院を整備				
◎新病棟（E病棟）の整備		二期工事	竣工	
◎診療機能の段階的充実			機能整備	

戦略2

救急医療・周産期医療提供体制を構築します。

主担当課：医療政策部 地域医療連携課

戦略目標

- ▶ 高度医療拠点病院と地域の医療機関が役割を分担及び連携して**患者を受け入れる体制の構築**を目指します。
- ▶ 救急度の高い患者（心肺停止・脳卒中/急性心筋梗塞・重症外傷等の重篤疾患）の受入先確保に要する**病院照会回数が4回以上の割合を平成29年度までに半減**します。（平成23年度：13.2%）
- ▶ **小児の一次救急医療体制を県内全ての市町村で確保**します。（広域連携による整備を含む）（平成24年度：32市町村）

取り組み

重症疾患について「断らない救命救急」体制の整備



総合防災訓練（救急受入体制）



産科病室風景



NICU（新生児集中治療室）

休日夜間応急診療所の体制整備

救急安心センター（#7119）の運営

周産期母子医療センターの充実

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
重症疾患について「断らない救命救急」体制の整備				
◎重症疾患について「断らない救命救急センター」の整備			充実整備	
◎救急搬送ルールの運用等			運用・見直し	
休日夜間応急診療所の体制整備			体制支援	
救急安心センター（#7119）の運営			設置・運営	
周産期母子医療センターの充実			充実整備	

戦略3

医師・看護師の確保を図ります。

主担当課：医療政策部 医師・看護師確保対策室

戦略目標

- ▶ 医師不足の診療科（産科・麻酔科・小児科）、救命救急センター及びへき地に勤務する**医師を育成し、偏在の解消**を目指します。
- ▶ 総合的な診療ができる**「総合医」を育成**します。
- ▶ 看護師の養成・定着を促進し、**不足の解消と看護の質の向上**を目指します。

取り組み

安定的な医師配置システムの運営

医師・看護師の養成・定着促進

へき地医療の充実



診療風景（イメージ）



看護職員の新人教育の様子

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
安定的な医師配置システムの運営				
◎地域医療学講座の運営	地域の医療状況の研究、医師育成プログラムの研究			
◎地域医療支援センターの運営	ドクターバンク、県費奨学生の配置及びキャリア形成支援			
医師・看護師の養成・定着促進				
◎医師確保修学資金の貸与	緊急医師確保枠の定員増・貸与			
◎臨床研修医確保の推進	臨床研修病院合同説明会・研修医の集い等の実施			
◎女性医師の復職応援	女性医師復職研修の実施、ネットワーク形成支援			
◎看護職員の養成	看護師等修学資金の貸与、看護師等養成所の運営支援			
◎看護職員の資質向上	階層別研修の実施、キャリアアップ支援			
◎看護職員の復職支援	復職研修の実施、ナースセンターによる再就業支援			
◎医療従事者の勤務環境改善	医療勤務環境改善支援センターの運営、病院内保育所の運営支援			
へき地医療の充実	へき地を支える医師の確保			

戦略4

地域の医療機関による連携体制及び医療・介護サービスの需要に対応できる地域医療提供体制を構築します。

主担当課：医療政策部 地域医療連携課

戦略目標

- ▶ **がん、脳卒中、急性心筋梗塞について、奈良県共通の地域連携バスを運用し、医療機関の役割分担を進めていきます。**
- ▶ **医療機関間や医療機関と介護サービス事業所等との効率的な情報共有の取り組みを進めていきます。**
- ▶ **地域ごとに他職種が連携して在宅医療提供体制を構築する取り組みを進め、在宅（自宅＋老人ホーム）看取り率の向上を目指します。（平成25年度：21.2%）**

取り組み

地域における病病連携や病診連携の推進

地域医療・介護連携ICTネットワークの推進

他職種が連携した在宅医療提供体制の構築の推進



病院内の様子



がん地域連携クリティカルパス「私のカルテ」

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地域における病病連携や病診連携の推進				
◎救急隊から医療機関との連携	搬送ルール運用・見直し			
◎救急重要疾患における医療連携体制の構築	地域連携バス運用			
◎がん、脳卒中、急性心筋梗塞等における役割分担、連携ネットワークの推進	地域連携バス運用			
◎糖尿病診療に関する専門医とかかりつけ医（非専門医）の連携	検討、協議、推進			
地域医療・介護連携ICTネットワークの推進				
◎地域医療・介護連携ICTネットワーク、マイ健康カードの推進		検討・調査	開発・構築・一部試行	
他職種が連携した在宅医療提供体制の構築の推進				
◎在宅医療提供体制の構築の推進	実施、検証・見直し			

戦略5 南和地域の医療提供体制を充実します。

担当課：医療政策部 病院マネジメント課

戦略目標

▶ 南和地域に公立病院新体制を構築するため、南和広域医療組合に参画して、**公立3病院の役割分担、機能再編**を進めます。

取り組み

南和地域の医療提供体制の充実

安定的な医師配置システムの運営（再掲）

へき地医療の充実（再掲）



南和地域の3つの公立病院を、南和広域医療組合が運営する救急医療を中心に担う1つの病院(南奈良総合医療センター)と、療養期を中心に担う2つの病院(吉野病院、五條病院)に役割を分担して、新しい組み合わせの3つの病院に再編整備します。

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
南和地域の医療提供体制の充実				
◎南奈良総合医療センターの整備		新築工事		供用
◎吉野病院の整備			改修工事	供用
◎五條病院の整備			改修工事	供用
◎医療機能の再編		検討、協議、推進		
安定的な医師配置システムの運営（再掲）				
◎地域医療学講座の運営		地域の医療状況の研究、医師育成プログラムの研究		
◎地域医療支援センターの運営		ドクターバンク、県費奨学生の配置及びキャリア形成支援		
へき地医療の充実（再掲）		へき地を支える医師の確保		

これまでの成果

急病時に受診すべきかなどのアドバイスを行う
電話相談窓口を継続して実施しました。
 (1日平均相談件数 平成20年度:12.1件→
 平成25年度:124.3件)

臨床研修医を確保するため、**臨床研修病
 院の合同説明会を実施**しました。
 (県内の臨床研修開始者数 平成26年度:90名)

周産期母子医療センターの充実等により、**ハイ
 リスク妊婦の県内受入搬送が増え**まし
 した。
 (平成20年:158件→平成25年:263件)

定着促進施策の推進等により、**看護職員の
 離職率が低下**しました。
 (平成20年:13.4%→平成24年:9.6%)

主な指標の動き

■よくなっている指標

人口10万人当たり医師数
 (医療施設従事)

201.0人
 (平成18年度 全国27位)



217.9人
 (平成24年度 全国28位)

医師が都市部に偏在する傾向があるため、全国平均を下回っているものの、医師数は継続して増加しています。

人口10万人当たり看護職員数

875.6人
 (平成18年度 全国40位)



1021.8人
 (平成24年度 全国40位)

全国順位は下位が続いているものの、総合的な看護職員確保対策により、看護職員は増加しました。

■変化が見られない指標、低下している指標

※覚知・病院搬送時間

33.0分
 (平成18年 全国38位)



43.8分
 (平成25年 全国44位)

全国的に伸びる傾向にありますが、奈良県は全国平均以上に伸びました。

指標名の前に※があるものは、数値の低いものが上位になる指標です。